

SINAPIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No. 61 2021. 6

“すべてのいのちを守ろう”

— 誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind —

2021年正義と平和大阪大会テーマ



作:読者のK.S.さん

いのち

カトリック大阪大司教区 社会活動センター

シナピス



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、
やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

06-6942-1784

06-6920-2203

sinapis@osaka.catholic.jp

巻頭言

すべてのいのちをまもるため…信仰より健康？

園田教会 山口 武史

神学生1年か2年生の時、上級生が「司祭への準備をどのようにすればいいですか？」というアンケートを各教区の神父様にお願いしました。答えは「司祭になると、まとまった勉強ができないから、今のうちに学問を」や、「小教区で難しい神学を言っても通用しないので、分かりやすく説明する努力を」というのが多かったようです。その中で、一人のベテランの神父様が「料理」と答えられました。理由は、話すことや小教区を治めることは、真面目にして、経験を積んだらできるだろう。そのためには生きなければならぬ。それを支えるのは食生活だ。だから料理を。信仰より健康。と結んであったと聞きました。

この一年以上、新型コロナウイルスが流行って、気をつけてはいるのですが、たまに、今の人生の目的は「感染しない。させない」だけなのか？と虚しくなる時があります。そんな時、先に挙げたベテランの神父様の言葉を思い出し、収束する時まで生き延びないと…と思わざるを得ません。

旧約聖書の説明本で、旧約の民が何故死を恐れたのかを書いていました。それは、旧約の民の生きる目的は神に賛美と感謝を捧げるため、死んでしまうと神とは何の関係もなくなり、神に賛美と感謝を捧げられなくなる。だから死を恐れたのだ、と述べられていました。生きていてこそということでしょうか。それは今にも言えることなのかもしれません。

教会でも、いつ聖歌が歌えるの？クリスマスなどのお祝い会はいつできるの？施設や病院の老人訪問の再開は？と思うように活動できません。それも収束したらいくらでもできます。ワクチンという光明も、遅ればせながら少しずつ見えてきました。司祭が言うのは少しはばかれますが、今は信仰より健康なのかなあ…と想ったりもします。ウイルスという脅威が過ぎ越すようにと祈ります。



今月のページ

■ ニュースレター 目次 ■

- 1 巻頭言
- 2 子どもたちに伝えたい平和
- 3 こども基金報告
- 4 時報6月号より
- 5 教えてください～！！第十四弾！
- 7 ヤンゴン大司教チャールズ・マウン・ポ枢機卿から緊急声明
- 9 みんなの掲示版
- 10 シナピスホーム便り
- 11 あとがき



■ チラシ・ご案内 ■

- ・シナピスの風 (A3:小教区・修道会 A4:その他)
- ・6月の祈り
- ・忘れないあきらめないカレンダー
- ・2021年シーサーネット年次総会&特別講演会
- ・8.6新聞意見広告2021にご参加ください！
- ・とめよう！戦争への道めざそう！
アジアの平和2021 関西のつどい
- ・映画の紹介



子どもたちに 伝えたい平和



私たちを「外国人」という目で見ないでください

ハテラ

私はアフガニスタン難民のハテラといいます。日本で生まれた中学校3年生の息子と小学校6年生の娘がいます。アフガニスタンで大学に通っていたとき、タリバン（注：パキスタンやアフガニスタンで活動するイスラム原理主義者の武装集団）がやってきました。大学では経済学を学び、卒業したら自立したいと思っていました。私はイスラムシーア派のハザラという民族です。ハザラ民族は顔立ちが他の人たちと違うこともあり、歴史的に迫害や差別を受けてきました。タリバンが来たためパキスタンに逃れていた時、夫と出会いました。先に日本で難民認定を受けることができた夫に呼ばれ、2003年に来日しました。日本に来たときに困ったのは言葉がわからないことです。当時妊娠していたので病院に行っても言葉がわからなくて、最初は支援者を頼ったりもしていましたが、いつまでも頼るわけにはいかないので、しばらくしたら自分で頑張りました。夫は仕事が忙しかったです。

子どもたちとは日本語で話したり、国の言葉であるダリ語（ペルシャ語の古語）で話したりします。上の子はダリ語が少しわかりますが、娘はよくわかりません。上の子が幼稚園の時にペルシャ語を教えていましたが、（ペルシャ語は日本語みたいに左から書くのではなく、右から書くので）先生から最近子どもが変な風に文字を書いていると注意されました。日本に住んでいるから日本語を使わないとだめなのだと思います。でも今思うと、小さいときに自分の言葉を教えたらよかったです。アフガニスタンの文化も教えたい。私の国だったら周りの人も家族も愛でいっぱい暮らしているけれど、日本は違う。日本に来た時、日本人は何でこんなに冷たいのだろうと思いました。ごめんなさいね。

アフガニスタンで大切にしているのは家族と親を敬うことです。日本の子どもたちは朝から晩まで学校に行って、帰ってきて宿題をしてご飯を食べて、疲れ果てて寝てしまう。学校で教えてほしいのは、家族のことです。家族って何ですかということを知りたい。アフガニスタンではそのことを大切にします。朝起きた時、親が仕事から帰ってきた時も、まず親に挨拶をします。日本は親が帰っても子どもはずっとそのまま。

子どもたちは幼稚園や学校でいじめられました。私は日本のことがよくわからないから、どういう風に子どもを助けたらいいかわからなかった。学校に行って私が怒ったら、外国人だから変だと先生方に思われるのではないかと感じてずっと我慢していました。お母さんの友達もいない。参観日などで会っても挨拶だけして離れていきます。子どもたちは学校でひどいいじめを受けて学校に行けなくなりました。先生に相談してもだめで、子どものために2回引っ越しました。それでも行く先々でいじめを受け、今も子どもたちは学校に行けていません。

どうか、私たちを「外国人」という目で見ないでください。子どもたちと私の願いです。

*本稿は2020年1月16日に行われたセミナー（3地区まちづくり合同会社 AKY インクルーシブコミュニティ研究所主催「子どもの貧困対策セミナー・地域で考える子どもの貧困：外国にルーツのある子どもの支援を考える」）での対談をまとめたものです。

2021年1月から4月までの食料と衛生用品の配布報告



大阪大司教区シナピスの皆様

グアテマラは現在新型コロナウイルスの第三波の只中で、第一波、第二波より厳しい状況です。しかし、困窮する家庭への皆様からの連帯のおかげで少しずつ切り抜けようとしています。

皆様の温かいご支援にとっても感謝しております。
神様が日々皆様を祝福されますように、そしてお守りになりますように。

ご支援のおかげで、援助を最も必要としている家庭に1月から4月にかけて支給を行いました。ここにその簡単な報告をいたします。

支給は ADISA のオフィスに徒歩で来られる人以外は、遠隔の人たちがバスなど公共交通手段を使わなくてすむように、こちらから支給物資をコミュニティまで運びます。そして距離を取るなど必要な措置を取りながら小さな集会を持ち、支給物資の説明やコロナ対策などについて話します。

この間、133 の浄化フィルター装置を届けることができました。112 個はすでに寄付があったもので、シナピスからの支援で残り 21 個を購入できました。

支給の度に何が最も必要かを調べますが、通常はトウモロコシ、豆、油、卵などの食料品と、石鹼や洗濯石鹼、トイレトーパー、消毒用塩素などの衛生セットを届けます。

受益者は 229 人ほどで男性 117 人、女性 112 人です。
衛生セットは2ヶ月おきに配り、食料は毎月配ります。

ありがとうございます。

ADISA 創設者・ディレクター
フランシスコ・ソフエル・ナビチョク

Asociación de Padres y Amigos de Personas con Discapacidad, Santiago Atitlán
Adisa Atitlán Tel. (502) 7721 7919 adisasantiago16@yahoo.es
www.adisagt.com



1月:
食料と衛生セットを
105 家庭に配布



2月:
食料品を
140 家庭に配布



3月:
食料品と衛生セットを
164 家庭に配布



4月:
食料と浄化フィルターセットを
149 家庭に配布

時報 6月号より

イエスにならう生き方を求めて

土が、石が、叫んでいます

悩みを持つ人々の痛みを寄り添い、
その悩みを少しでも分かち合うことのできる、
教会共同体をめざして

沖縄慰霊の日 6月23日

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より



魂魄之塔（こんぱくのとう） 一帯は沖縄戦激戦地。沖縄で最初に建てられた慰霊碑。3万5千柱の戦没者の遺骨が納められている。写真提供：山田圭吾さん（那覇教区）

社会福音化部、正義と平和協議会担当の松浦謙神父は「『沖縄戦戦没者の遺骨』の尊厳を守るように訴えましょう～宗教者共同声明」を受け、1月20日付で教区の皆様に文書を送りました。戦争犠牲者の遺骨が混じった土砂を基地建設に使うことに対し、政府に抗議、共同声明を発表し、この計画の即時撤回を求めるものです。

前田万葉枢機卿も「遺骨は死者の尊厳そのもの。遺骨を蔑ろにすれば、死者の尊厳を踏みしめることになる。戦争で命を奪われた方々の遺骨を軍事基地建設に利用することは、命を尊ぶ宗教者として、これを許すことはできない」とのメッセージを寄せました。

(以下割愛 日本カトリック正義と平和協議会会長担当両司教声明文「辺野古新基地建設に、沖縄戦犠牲者の遺骨が収集されないまま眠る沖縄本島の土を使わないでください」シナピスニュース5月号に同封をお読みください)

沖縄出身で長年この大阪でわたしたちカトリック教会の活動にもご理解ご協力くださり、活動してこられた日本基督教団の上地武牧師（今年に入って大阪から沖縄に転任）、また、宗教者共同声明に賛同した林和則神父からメッセージをいただきましたのでご紹介します。

「遺骨の混じった土砂」日本基督教団首里教会 牧師 上地 武（うえち たけし）

私は、沖縄戦で激戦地となった摩文仁の丘（まぶにのおか）に立つと、足が震えます。それは、私が踏んでいるこの土地は、沖縄戦で犠牲となった数えきれないほどの人々の血がしみ込み、収集されていない遺骨が眠っているからです。沖縄島の南部一帯は、そのような場所です。あろうことか、その土砂を掘り起こし、名護市辺野古の米軍新基地建設への埋め立てに使用することです。採掘業者や国は、「遺骨は取り除いて行う、供養は済んだ。」と言い訳をしていますが、戦争犠牲者は死んでもなお基地の土台として犠牲にされるのです。沖縄では、国に対して「南部土砂使用」を断念するよう訴えています。全国の皆さんにも呼びかけています。今年もまた6月23日がやってきます。土が、石が叫んでいます。

「沖縄慰霊の日に思う」神戸西ブロック 林 和則

辺野古の埋め立て土砂の採取地に沖縄本島南部の土地を追加することは、今月23日の沖縄慰霊の日の精神に反する冒瀆的な行為です。いまだに遺骨が残っているという具体的事実もありますが、その地が沖縄戦の軍民を交えた最終的な激戦の地であったからです。それはもはや「戦闘」ではなく本土のための「防波堤」として沖縄の人びとを「人間の盾」としたような掃討戦でした。その地の上に平和を維持しつづけることこそが「慰霊」でしょう。それを基地の土とするのは冒瀆であると思います。

多岐にわたる申し込みあり！

大会まで あと6か月 オンライン(ハイブリッド型)開催！

- ◆ 分科会主催 2次募集 締め切り： 6月19日(土) まで
- ◆ 大会ボランティア募集 要約筆記、IT・オンラインサポート etc 説明会、研修あり（初心者歓迎）

申込など詳しくは JP 大阪大会事務局ページをご覧ください。

http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html

☎06-6942-1784





「エコロジカルな回心」とは？

先月号でとりあげたいかなごの話、読者からこのようなご意見をいただきました。

ほんまにこれでいいの？

いかなご不漁の解決方法についてちょっといかなご、もとい、いかなごものかと思いました。

まず魚付き林のこと。魚付き林とは海岸沿いの林、森のこと、古くから沿岸漁業で大事にされてきました。樹陰は魚の隠れ場所になり、また腐食した落ち葉の栄養素が雨水によって運ばれ植物性プランクトンを育て、それを食べて動物性プランクトンが、そして小魚、大魚が育つという植物連鎖を昔の人は経験で知っていたのでしょう。

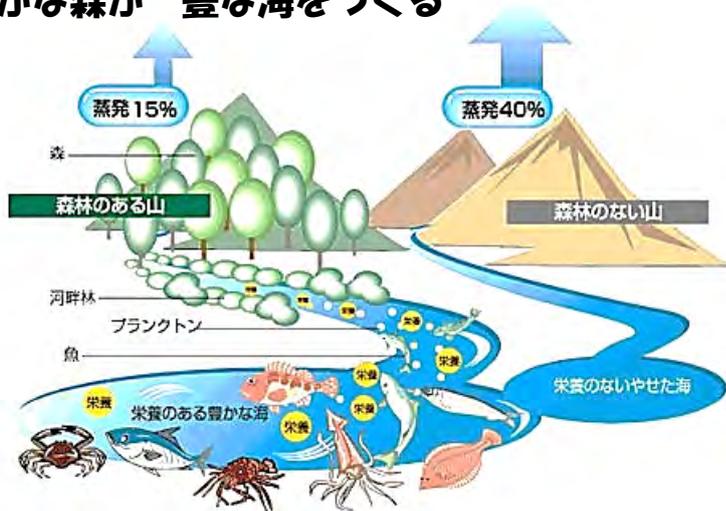
ところが工業化、経済成長によって汚染物質が海に流れ込むことにより、陸から排出されるものは「毒」ということで規制が進みました。一方、陸からの恵み自体減少しました。腐食が早く栄養豊富な広葉樹の天然林にかわり、スギ、ヒノキなどの人工林が作られ、さらに林業の衰退により山が荒れてしまいました。土砂の流出を防ぐ砂防ダムの建設も、栄養豊かな泥の流出まで止めてしまいました。地域で行われていた、池の底にたまっている栄養が多く含まれた泥水をポンプを使って海に流す「かいぼり」の習慣もすたれてしまいました。その結果、海はやせてしまったというわけです。

瀬戸内海の汚染を止め、元の海に戻そうという取り組みは功を奏し、海自体はきれいになったけれど栄養が足りなくなったというのは確かでしょう。ただ先月号で紹介されていたような、海底を掘り起こし、堆積していた窒素やリンなどの栄養素を海中に放出する方法には疑問を感じます。海をひっかきまわし、ヘドロを巻き上げ、折角沈殿している有害物質も舞い上がらせていいのでしょうか。まして栄養素を取り除きすぎないために生活排水、工場排水の基準の下限をあげるというのは、それでは今までの努力は何だったのかと言いたい気がします。排水の中には栄養素だけではなく有害物質も沢山入っています。栄養素によって一時的に漁獲量は復活するかもしれませんが、長い目で見て得策とは思えません。

不漁の原因には乱獲もあります。私もよく「くぎ煮」を作り親しい方にちょこっとずつ配っていましたが、「いかなご音頭」（「いかな、いかな、いかな、GO！」という歌詞）によって大量の稚魚が「くぎ煮」レシピや専用のパックと共に売られ全国的に有名になっていく様子を、次第にこれでいいのかなと思うようになっていました。まもなく不漁が取りざたされるようになり、あっという間に今の状況になってしまいました。獲れるだけ獲り売れるだけ売るのはなく、いかなごも喜んで棲み、卵を産み、稚魚を少しばかり人間がいただくというのがいいのではないかと思います。少し「汚す」方法は今のところそれしかないのかもしれませんが、もっと根本的な方策を考えていくことが必要なのではないでしょうか。（M）



豊かな森が 豊かな海をつくる



日本では昔から「森が魚を呼ぶ」と言われ、「魚付き林」として海岸や川辺近くの森を大切にしてきました。森林を取り巻く環境が破壊されることによってミネラル分が海や河川に届かなくなって植物性のプランクトンが減少し、魚が住みにくくなるというサイクルが科学的にも分かってきたそうです。そのためブナなどを植樹し、森を育む取り組みが全国各地で行われています。

いのちはすべてつながっている。目の前のことだけでなく、人間と自然とのあり方自体をまず反省することから始めなければ。当たり前だけれども忘れがちなことに気が付かせてくださった投稿に感謝です！

図：「海と森 森が育む豊かな海～森、川、海をつなぐ森づくり運動～」
 (社) 海と渚環境美化推進機構専務理事河田和光、OPRI 海洋制作研究所 HP より



みなさんがご存じのことを教えてください

たとえばこんなこと

1. 環境のためにしていること、昔から言い伝えられている知恵

2. あなたにとって、「すべてのいのちを守る」とは？

☆お名前またはニックネーム _____

☆連絡先（メールアドレスや電話番号など）

☆投稿方法 FAX : 06-6920-2203 / メール : sinapis@osaka.catholic.jp

QR コード*

*QRコードの読み込みには、スマートフォンなどでQRコードリーダーをダウンロード
することが必要です。



2021年5月23日夜、ミャンマー東部ロイコー州カヤンタヤルの聖心教会への攻撃に対して、ヤンゴン大司教チャールズ・マウン・ボ枢機卿から緊急声明が出されました。

東京教区広報課が日本語に翻訳してホームページに掲載したものを転載いたします。

ヤンゴン大司教ボ枢機卿緊急声明

2021年05月26日

緊急声明

2021年5月23日夜、ミャンマー東部ロイコー州カヤンタヤルの聖心教会への攻撃によって4名が亡くなり、大勢が負傷した件に関して2021年5月23日夜、ロイコー州カヤンタヤルの聖心教会に避難していた罪のない民間人が襲撃されたことに対し、私たちは計り知れない悲しみと痛みを感じています。怯えている女性や子どもたちを含む人々に対し、重火器による連続砲撃などの暴力が加えられ、4人が死亡、8人以上が負傷するという悲劇が起きました。教会が受けた広範囲に及ぶ被害は、礼拝所への攻撃の激しさを物語っています。真夜中に襲撃を受けた不運な人々はジャングルに逃げ込みました。彼らの悲運はまだ外の世界に知られていません。食料、医薬品、衛生が緊急に必要とされていますが、彼らにそれを届ける方法がありません。彼らの中には多くの子どもや老人が含まれ、飢えを強いられ、医療支援も受けられずにいます。これは大きな人道的悲劇です。

私たちは、地域社会の文化財である礼拝所が、国際協定による保護対象となっていることに注目していただきたいと思えます。教会、病院、学校は、ハーグ陸戦条約(※)によって紛争時であっても保護されています。そもそも国際協定を持ち出すまでもなく、そこで流された血は敵の血ではないことを忘れないでください。亡くなった方も負傷した方もこの国の国民です。彼らは武装さえしていませんでした。家族を守るために教会の中にいただけなのです。この国のすべての心が、罪のない人々の死に涙しています。今、何百人もの人々が亡くなり、何千人もの人々が難民や国内避難民となっています。最近のロイコー州の紛争では、2万人以上が避難しています。

この惨状は止めなければなりません。関連団体の皆様をお願いします。この戦争を激化させないでください。私たちの国民は貧しく、COVID-19によって生計を奪われています。飢餓は何百万もの人々を襲い、COVID-19のさらなる流行が現実となっています。今起こっている紛争は残酷な異常事態です。平和は可能です。平和こそ唯一の道です。私たちは、政治家としてではなく、宗教指導者として、この緊急声明を発しています。私たちは、この偉大な国の平和を祈り、私たち全員がこの偉大な国で兄弟姉妹として暮らせることを願っています。

枢機卿 チャールズ・マウン・ボ
ヤンゴン大司教
ミャンマーカトリック司教協議会会長
アジア司教協議会連盟総裁
ミャンマーRfP 指導者 国際 RfP 副会長

※ハーグ陸戦条約第27条: 攻囲及び砲撃を行うにあたっては、宗教、技芸、学術、慈善の用途に使用されている建物、歴史上の記念建造物、病院、傷病者の収容所は、同時に軍事目的に使用されていない限り、これに対しなるべく損害を与えない為の必要な一切の手段を取らなければならないものとする。攻囲された側は識別し易い徽章をもって建物または収容所を表示する義務を負う。前述の徽章は予めこれを攻囲者に通告すること。



Ref046.R/2021.

ရက်စွဲ၊ ၂၀၂၁ ခု၊ မေလ ၂၅ ရက်

အနူးအညွတ်မေတ္တာရပ်ခံခြင်း

အကြောင်းအရာ။ လူ့အသက်၏ ဂုဏ်သိက္ခာနှင့် မြန်မာပြည်တွင်းရှိ အများပြည်သူ ဝတ်ပြုကုံးကွယ်သည့် ဘုရားကျောင်းကန်များနှင့် ဘာသာရေးဆိုင်ရာ ရှိခိုးကုံးကွယ်သောနေရာများ၌ နှိလှုံနေကြသော ပြည်သူများကို လေးစား တန်ဖိုးထားရန် အားလုံးကို အနူးအညွတ် မေတ္တာရပ်ခံခြင်း

ရည်ညွှန်းချက်။ ။ ၂၀၂၁ခုနှစ် မေလ ၂၃ရက်နေ့ည သန်းခေါင်ယံ၌ မြန်မာပြည် အရှေ့ပိုင်း လွိုင်ကော်မြို့အနီး ကယန်းသာယာကျေးရွာရှိ ယေရူး ရွှေနန်းတော်ဘုရားရှိခိုးကျောင်း တိုက်ခိုက်ခံရမှုကြောင့် သေဆုံးသွားသော အပြစ်မဲ့ ပြည်သူ ၄ဦးနှင့် ဒဏ်ရာ ရရှိခဲ့သူများကို ရည်ရွယ်သည်။

ကျွန်ုပ်တို့ ပြည်သူများသည် ဆင်ခြင်ကြပါသည်။ Covid 19 ကပ်ရောဂါကြောင့်လည်း ဘဝရှင်သန်ရေးများ ခက်ခဲကြရပြီး သန်းနှင့် ချီ၍ ဝတ်မှုတ်ခေါင်းပါးမှုများလည်း ဖြစ်ပေါ်လာကာ အသွင်ပြောင်း Covid ရောဂါသစ်ကလည်း အမှန်တကယ်ပင် ခြိမ်းခြောက်လျက်ရှိပါသည်။ ဤကဲ့သို့ အချိန်မျိုး၌ အချင်းချင်း သဘောထား ကွဲလွဲခြင်းများသည် တိုင်းသူပြည်သားများအတွက် အင်မတန် ဆိုးရွားသော အခြေအနေကို ပိုမို ဖြစ်ပေါ်စေသည်။ ငြိမ်းချမ်းရေးသည် ဖြစ်နိုင်ပါ၏။ ငြိမ်းနည်းလမ်းဖြစ်ပါသည်။

၂၀၂၁ခုနှစ် မေလ ၂၃ရက်နေ့ ညသန်းခေါင်ယံ၊ ကယန်းသာယာကျေးရွာရှိ ယေရူး ရွှေနန်းတော်ဘုရားရှိခိုးကျောင်းကလေးအများစု အပါအဝင် လူအုပ်ကြီးထဲသို့ ဖုံးများ တိုက်ခိုက်မှုများကြောင့် အပြစ်မဲ့ ပြည်သူ ၄ဦး သေဆုံးခဲ့ပြီး သိရှိရပါသည်။

၎င်းပြည်သူတို့သည် လက်နက်မကိုင်ဆွဲထားကြပါ။ မိမိ၏ ဘုရားကျောင်းအတွင်း၌ နှိလှုံနေခဲ့ကြခြင်းဖြစ်ပါသည်။ မြေကျခဲ့ရသော သေဆုံးထိခိုက် ဒဏ်ရာရကြသော ကျွန်ုပ်တို့ မြန်မာပြည်သူပြ

သွေးများဖြစ်ကြောင်းကို အထူးပင် သတိပြုကြပါစို့။ အပြစ်မဲ့ ပြည်သူတို့၏ သေဆုံးခြင်းအတွက် ကျွန်ုပ်တို့ ပြည်သူပြည်သားများ၏ နှလုံးသားများ၌ ပူဆွေးငိုကြွေးကြရပါသည်။

၎င်းည သန်းခေါင်ယံ တိုက်ခိုက်မှုကြောင့် အကူအညီမရသော လူအုပ်ကြီးသည် တောကြီးမြက်မဲထဲသို့ ထွက်ပြေး တိမ်းရှောင်ခဲ့ကြရပါသည်။ လွိုင်ကော် အနီးတစ်ဝိုက်တွင် ဖြစ်ပေါ်ခဲ့သော လတ်တလော အရေးအခင်းကြောင့် စစ်ပြေးရှောင် ၂၀,၀၀၀ကျော် ရှိနေကြောင်း သိရှိရပါသည်။ ၎င်းတို့၏ ဒုက္ခ ကြုံရာကို ပြင်ပ ကမ္ဘာသည် မသိရှိသေးပါ။ အစားအသောက်၊ ဆေးဝါးနှင့် တကိုယ်ရည်သုံး ပစ္စည်းများ လိုအပ်လျက် ရှိကြောင်း သိရပါသည်။ များစွာသော သက်ကြီးရွယ်အိုများနှင့် ကလေးသူငယ်များသည် ကျန်းမာရေး အထောက်အကူ ပစ္စည်းများ မျိုးတုံ့ခြင်းနှင့် ဝတ်မှုတ်ခေါင်းပါးခြင်း ဒဏ်ကို ခံစားနေရပါသည်။ ဤသည်မှာ အပြစ်မဲ့ ပြည်သူတို့ တွေ့ကြုံနေရသော အင်မတန် ဝမ်းနည်း ကြေကွဲဖွယ်ရာ အဖြစ်တို့ဖြစ်ပင် ဖြစ်ပါသည်။

ဘုရားကျောင်း၏ အလွန်အမင်း ပျက်ဆီးမှုကို ထောက်ခြင်းအားဖြင့် ဘုရားဝတ်ပြုကုံးကွယ်ရာ နေရာကို တိုက်ခိုက်မှုသည် အင်မတန် ပြင်းထန်ကြောင်းကို တွေ့မြင်နိုင်ပါသည်။ ဘာသာရေးဆိုင်ရာ ရှိခိုးကုံးကွယ်သောနေရာများသည် ယဉ်ကျေးမှု ထုံးစံအရ အများပြည်သူတို့နှင့် သက်ဆိုင်ရာနေရာများဖြစ်ပြီး အပြည်ပြည်ဆိုင်ရာ သတ်မှတ်ချက်များ ဖြင့်လည်း အကာအကွယ်ပေးရသော အဆောက်အအုံများလည်း ဖြစ်ပါသည်။ The Hague Conventions အရလည်း ဘာသာရေးဆိုင်ရာ ရှိခိုးကုံးကွယ်သောနေရာများ၊ ဆေးရုံများ၊ စာသင်ကျောင်းများသည် အကာအကွယ်ရရှိပြီး လုံခြုံသော နေရာများအဖြစ် သတ်မှတ်ခံထားရသည်ကို ကျွန်ုပ်တို့ အားလုံး သတိပြုရန် လိုအပ်ပါသည်။

ယခု အခြေအနေတွင် ရာနှင့် ချီ၍ သေဆုံးကြရပြီး ထောင်သောင်းချီ၍ စစ်ပြေးရှောင် ဒုက္ခသည်များ ဘဝသို့ ရောက်ရှိနေကြသူများလည်း ရှိပါသည်။ အလားတူ အခြေအပျက်များ ရပ်တန့်ရန် အထူးပင် လိုအပ်ပါသည်။ သို့ဖြစ်ပါ၍ သက်ဆိုင်ရာ အဖွဲ့အစည်းများအား စစ်ပွဲများ အမြန်ဆုံး ရပ်တန့်နိုင်ရေးအတွက် အထူးပင် မေတ္တာရပ်ခံပါသည်။

ကျွန်ုပ်တို့သည် ဤအရေးပေါ် မေတ္တာရပ်ခံမှုကို နိုင်ငံရေးသမားများ အနေဖြင့် မဟုတ်ဘဲ ဘာသာရေး ခေါင်းဆောင်များ အနေဖြင့်သာ မေတ္တာရပ်ခံခြင်းဖြစ်ပါသည်။ ကြီးမြတ်သော အိမ်ခြံမြေပြည်ကြီး၌ ငြိမ်းချမ်းရေးများနှင့် ပြည့်ဝစေရန် ကျွန်ုပ်တို့ ဆုတောင်းပေးလျက်ရှိပြီး ညီရင်းအစ်ကို မောင်နှမစိတ်ဝတ်များဖြင့် အတူတကွ စည်းလုံးညီညွတ်စွာ နေထိုင်နိုင်ရေးကိုလည်း ကျွန်ုပ်တို့ မျှော်လင့်လျက်ရှိပါသည်။

+ *Thao*

ကာဒီနယ် ချားလ်စ် မောင်ဘို (SDB)
ဝိုင်းချုပ်ဆရာတော်ကြီး၊ ရန်ကုန်ကက်သလစ်ဝိုင်းချုပ်သာသနာ့
ဥက္ကဋ္ဌ ဆရာတော်ကြီး၊ မြန်မာနိုင်ငံကက်သလစ်ဆရာတော်ကြီးများ အဖွဲ့ချုပ် (CBCM)
ဥက္ကဋ္ဌ ဆရာတော်ကြီး၊ အာရှတိုက်ဆိုင်ရာကက်သလစ်ဆရာတော်ကြီးများ အဖွဲ့ချုပ် (FABC)
နာယက၊ မြန်မာနိုင်ငံရှိ ငြိမ်းချမ်းမေတ္တာအဖွဲ့ (RFP, Myanmar)
ပူးတွဲ ဥက္ကဋ္ဌ၊ နိုင်ငံတကာ ငြိမ်းချမ်းမေတ္တာအဖွဲ့ (RFP, International)



▶カトリック東京大司教区ウェブサイト
<https://tokyo.catholic.jp> › info › diocese



みんなの けいじばん



「入管法改正案」が事実上の廃案に！

本国会での強行採決が見込まれていた「入管法改正案」は、野党の反対により事実上の廃案に追い込まれました。シナピスからもみなさんに署名や国会議員へのメッセージの送付などをお願いし、多くの方からご協力いただきました。入管でのスリランカ人女性ウイシュマさんの理不尽な死と、私たち一人ひとりの「人権を省みない改悪案に NO！」の意思表示が国会議員を動かし、政治を動かしたのです。この間、シナピスでも、様々なネットワークを活用しながら情報を収集し、みなさんに伝えるとともに、みなさんのご意見を国会に届ける方法を模索してきました。その経緯を少し振り返りたいと思います。

<入管法改定をめぐる経緯>

2021年2月 出入国在留管理庁が作成した「入管法改正案」が閣議決定
シナピスは、「カトリック難民移住移動者委員会」、「移住者と連帯する全国ネットワーク（以下移住連）」等と連絡を取りながら情報を収集し阻止のための対策を練る

3月 ウイシュマさんが名古屋入管で亡くなる
シナピスニュース 3月号に、移住連および「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」による、入管法改悪反対や在留資格を求める署名を同封
3月末にシナピス入管法セミナーを開催

4月 早ければGW前に「改正案」が国会で通過してしまうかもしれないという情報を聞き、在留資格を求める移住者の子どもの声を発信。移住連の仲介でこの子どもも出席して野党議員と ZOOM 会議を実施。また緊急で国会法務委員会の議員へのメッセージ送付を呼びかけるハガキをニュース読者に送付

5月 難民移住者支援をしている弁護士の呼びかけによる「入管法改悪反対デモ」に参加

***5月18日 「改正案」採決より先にウイシュマさん死亡の真相解明を求める野党の反対を受け、与党が採決を断念**

No!



「入管法改正」は阻止できましたが、入管の長期収容問題、仮放免をめぐる問題、ウイシュマさん死亡の真相究明など、声をあげなくてはならないことが沢山あります。政治や社会の主人公は私たち。
引き続き行動をともにしていきましょう！



掲示板には、メール、FAX、または右の QR コードからご投稿ください。

☆電話番号：06-6942-1784 ☆FAX 番号：06-6920-2203

☆メール：sinapis@osaka.catholic.jp



シナピスホーム便り



こんにちは！緊急事態宣言が6月20日まで延長されたのに伴い、シナピスホームも休止状態が続いています。現在は、宣言解除後に「おとしより食堂」として再開できるよう、難民移住者のメンバーとスタッフが試食づくりに励んでいます。

山田直保子



試食づくり第1回目は、ブラジル料理の「フェイジョン」というお料理。ブラジルの豆を圧力鍋でコトコト煮て、チキンや玉ねぎを材料に、ニンニクやスパイスで味付けし、白米と共にいただきます。



ブラジル人男性が前日から下ごしらえや調理をし、他のメンバーは彼の指示を受けて手伝いながら作りました。マカロニサラダも追加、きゅうりのアク取りなどは、スタッフは塩もみをするくらいでしたが、きゅうりの端を切り、切り口をしばらくこすり合わせていると白い泡が出てきて、こすると苦くなくなるよと教えてくれました。勉強になります。



第2回目は、スリランカカレーでした。チキンと玉ねぎのカレーとチキンとココナツカレーの2種類。スリランカ人女性のママ直伝の、日本にはないチリパウダーを使って作成。彼女が作るカレーは、昔、友人の飲食店でもお出ししていた本格派！辛さも調整できるので、辛いのが苦手なスタッフもとても美味しくいただきました。彼女はとにかく手際がよく、10食分を1時間半で作ってしまって本当にすごいなと思いました。

皆さん、やる気に満ち溢れていて、レシピの研究に余念がありません。

その他にも、おやつにと、南米のお米のデザート「アロスコンレチェ」や、スリランカのパリンのような「ワタラツパン」を自宅で作ってくれたりして、みんなで一緒に食べながら、盛り付けはどうか、食器はこういうものがいいねなど、写真を見たりアイデアを出し合ったりして、楽しみながら1日が過ぎていきます。

みなさんもう本当に生き活きとしていて、ホームという場所を作ることができてよかったと心から思います。メンバーも、早くみなさんに料理をお出しできるのを心待ちにしています。楽しみにしててくださいね！



国が動いた！！

出入国在留管理庁は、国内情勢が安定するまで、ミャンマー国籍の人たちへの緊急避難的な対応として、希望者への在留と就労を認める措置を始めました。暫定的ではありますが、難民認定手続き中の人にも迅速的に審査を進め、入管に収容中の人たちへは当面の間、強制送還をしないとの方針を固めています。

日本で暮らす、ミャンマーの人たち、支援する人たち、そして、このクーデターに対し、抗議の声を上げている多くの方が、政府を動かす力になったはずで、ミャンマー市民のいのちを守り、人道的配慮がなされるように、引き続き働きかけてまいりましょう。

声を
届けよう！



ミャンマーの人々の
いのちを守ってください
シナピスにハガキあります。

活動へのご支援ご協力 よろしくお願ひいたします。

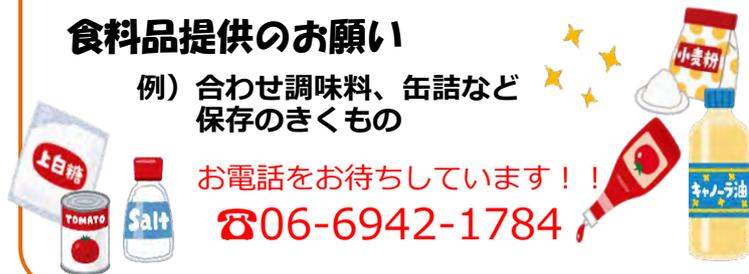
郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

難民移住移動者支援もよろしくお願ひいたします。

食料品提供のお願い

例) 合わせ調味料、缶詰など
保存のきくもの



お電話をお待ちしています！！

☎06-6942-1784

◆ HP はただいまリニューアル作業中です。
再開まで今しばらくお待ちください。

あとがき

こんな私でも、少しは力になったかもしれない。それを実感したのは、「入管法改正案廃案」の一報を聞いた瞬間だった。驚きながら「よっしゃ！」と思わず声を上げた。スリランカ人のウィシュマさんが亡くなったことは大きなきっかけであったことは間違いない。ただ、ウィシュマさんと同じことが起きるかもしれない人たちが、この目の前にいる。この人たちの「いのち」がかかっていた。今回は、世の中の空気が違っていた。日頃、国会や法律に関心を寄せていない人までも、「どうして、酷い、おかしい、」と口にする声が聞こえてきた。コロナ禍の中、まともに医療にもかかることが出来ない現実にぶち当たり、あらためてこの国の「いのちの選別」に向き合ったという人もいた。そうして「アクション」を起こした人がいた。小さな「どうして」は、世界を変える大きな力になる。(H)

▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆ 広報活動

- ・ 教皇メッセージ、司教団メッセージ等 社会活動の指針の伝達
- ・ 読者と教会内外の社会活動をつなぐ 機関誌としてシナピスニュースを発行

◆ 大阪教区・社会活動委員会との連携

◆ 学習会研修会の企画

◆ こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

◆ カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆ 人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

◆ 難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22
カトリック大阪大司教区事務局内



公共交通機関ご利用の場合

- JR 森ノ宮駅より 約 1000m
 - 地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m
 - JR 玉造駅より 約 1000m
 - 地下鉄鶴見緑地線玉造 1 番出口より 約 800m
- 車でのお越しの場合
阪神高速 1 3 号東大阪線法円坂出口
法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがひします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

カトリック正義と平和協議会全国集会 大阪大会 2021.11.22~23

“すべてのいのちを守ろう”



～誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind～

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

シナピスの風

* 行事はコロナ感染症の影響で延期または中止になることがあります。ご参加の際は連絡先にお問い合わせください。

第138号 2021年6月1日発行

6月の祈り

神様、どうして (聖霊降臨の祝日によせて)



新聞を開くとき、ニュースを聞くときに度々、「どうして」という叫びを痛くなるほど自分のうちに感じます。パレスチナとイスラエルで命を奪われている人々、ミャンマーで抑圧され続けている人々の状況を見て、「どうして」と。もっと身近なところで、ホームレスの生活を強いられて孤独を味わいながら毎日過ごす人々、名古屋の入管の収容所で亡くなられた女性のニュースが届いたときに、「どうして」と。こういう「どうして」を生み出す現実を変える力は周りの人々とこの叫びの痛みを分かち合うことによって自分のうちに湧き出てくるのです。だから、この叫びに耳を傾け続けることを恐れません。聖霊はその中で働いておられます。聖霊よ、わたしたちを導き、助けてください。アーメン。

シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターとともに送っております。教会で、ご家庭で、日々のお祈りにお使いください。シナピスのホームページからも、ダウンロードしていただけます。

オンライン(ハイブリッド型)開催!

大会まで あと6か月

多岐にわたる申し込みあり!

北は北海道から南は沖縄まで
オンラインでつながろう!

- ◆ 分科会主催 2次募集 締め切り: 6月19日(土)まで
- ◆ 大会ボランティア募集 要約筆記、IT・オンラインサポート etc 説明会、研修あり(初心者歓迎)



▶ 申込など詳しくは JP 大阪大会事務局ページをご覧ください。

http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html

☎06-6942-1784

分科会をやってみたい!! けど、どのようにしたらいいの

いろんな企画があると面白いですね。講演、映画上映会、スタディーツアー、ディベート、パネルディスカッション、ワークショップ、劇……などなど。やってみたいけど、どのようにしたらいいか分からないという方は一緒に考えましょう!

分科会・特別プログラムに 参加したい!!

分科会や特別プログラムが決定したら、教区ホームページや書面で後日ご案内します。関心のある分科会をみつけたら、お申し込みください。なお、分科会はいくつかの会場で行います。場所も合わせてご確認ください。



シナピス工房

気持ちのいい季節!
お掃除しましょ



環境にやさしい
ジュート製たわし

お試し規格 1枚 ¥100
洗面台など、ちょっとした
スペースで使えるミニサイズ



大玉のロザリオ ¥900

祈りのおともやプレゼントにお使いください。大玉なので高齢の方、病床にある方でも、手指全体で軽く触れるだけで祈ることができます。お見舞い、訪問に重宝されています。

レギュラーサイズ
2枚 ¥500

認定 NPO 法人こうのつりのゆりかご in 関西

2021 公開講演会 (リモート参加併用)

「皆で迎えよう! 新しいいのち」

日時: 6月13日(日) 13:30~16:30
場所: スパ・スアルファ三宮 (6F 中会議室 1)
講師: 蓮田健さん

(医療法人聖粒会慈恵病院理事長・院長)

参加費: 1,000 円 (リモート/会場共通)

テーマ: 「予期しない妊娠を考える・・・知らない赤ちゃん? いてもらっては困る赤ちゃん?」

主催: 認定 NPO 法人こうのつりのゆりかご in 関西

問い合わせ: ☎078-391-5820

✉info@yurikago.site

「入管法改正案」事実上の廃案に!

今国会で審議されていた「入管法改正案」の採決が、野党の反対により見送られました。人権を顧みない入管行政に NO を突きつけた市民社会の声は政治を動かした結果です。シナピスでも署名や国会議員へのメッセージの呼びかけなどを通して、みなさんの声を国会に伝えるお手伝いができました。ご協力に深く感謝いたします。ただ、名古屋入管で亡くなったウィシュマさんの真相究明をはじめ、まだ私たちの声が必要です。あきらめず、ともにたたかきましょう!

食糧支援のお願い コロナ禍で解雇された技能実習生、帰国できずに困っている留学生や短期滞在者が増えています。缶詰、野菜 100%ジュース、様々なルーやソース、簡単合わせ調味料、パスタなど、食べ物のご支援をお願いします。



感謝



カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス
Tel 06-6942-1784 Fax 06-6920-2203
URL: <https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

「点訳版」「音訳」
ご希望の方はシナピスまで
お申込み下さい。



忘れない＊あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。



2021年6月の案内

★印 カトリック関係

2021年 祈禱の信徒 祈りの意向 6月

世界共通の意向：結婚の美しさ

キリスト者の共同体に支えられて結婚の準備をすすめている若者たちのために祈りましょう。寛大さ、誠実さ、そして忍耐をもって、愛を育むことができますように。

日本の教会の意向：召命

高齢化していく日本の教会の中で、若者がキリストの呼びかけに応え、神の民に奉仕することができますように。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合があります。事前に各主催者へお問い合わせください。

| | | |
|----|---|--|
| 5 | 土 | 世界環境デー |
| 7 | 月 | 世界食の安全デー |
| 8 | 火 | 世界海洋デー |
| 12 | 土 | <p>児童労働に反対する世界デー</p> <p>●2021年度 同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ：日本の歴史と「朝鮮」の境界 「解放後、日本と朝鮮のあゆみ～植民地支配責任と朝鮮(仮)」板垣竜太さん(同志社大学教員) 毎回 正午より24時間 youtube上にて公開 参加費：無料(どなたでもご参加できます) 限定公開のため配信前日の金曜日までに事前連絡要 主催：同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先：doshisha_koribun@yahoo.co.jp</p> |
| 14 | 月 | 世界献血デー [WHO] |
| 15 | 火 | 世界高齢者虐待啓発デー |
| 17 | 木 | <p>砂漠化および干ばつと闘う国際デー</p> <p>●「一元化条例」制定後の府・市政を考える討論集会 18時30分～20時30分 会場：エルおおさか大会議室 内容：大阪市会の情勢報告 市議員 武直樹さん これからの市民運動の課題と実践・問題提起と討論 資料代：500円 主催：どないする大阪の未来ネット</p> |
| 19 | 土 | <p>紛争下の性的暴力根絶のための国際デー</p> <p>●南京集会2021「南京特務機関と満鉄調査部」 13:00開場 13:30開始 会場：エルおおさか709号室 講師：林伯耀さん 映像：インタビュー元特務機関員 丸山進さん リモート参加申し込みアドレス https://bit.ly/3cWGNvc 振込方法と詳細はサイトに書いています。 資料代：800円 主催：南京大虐殺60周年大阪実行委員会 問合せ：080-3822-0404</p> <p>●原発・核燃からの撤退を！ 2021関西集会 13:20開場 13:40開演 ドーンセンター5F大ホール 映画：「カタストロフィ」上映 一壊滅を防ぐためにー 講演：中野宏典(弁護士)「規制委の審査の不合理的」 討論会：「脱原発、脱核燃の政策をどう実現させるか」 参加費：一般1000円 避難者・障がい者・学生700円 主催：脱原発政策実現全国ネットワーク関西・福井ブロック 共催：大阪平和人権センター 原発反対福井県民会議 協賛：「しないさせない!戦争協力」関西ネットワーク 緑の大阪</p> <p>●2021年度 同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ：日本の歴史と「朝鮮」の境界 「解放後、日本と韓国のあゆみ～植民地支配・戦争責任問題を中心に」 太田修さん(同志社大学教員) 毎回 正午より24時間 youtube上にて公開 参加費：無料(どなたでもご参加できます) 限定公開のため配信前日の金曜日までに事前連絡要 主催：同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先：doshisha_koribun@yahoo.co.jp</p> |
| 20 | 日 | <p>世界難民の日</p> <p>●2021年度「開発教育セミナー ～SDGs(持続可能な開発目標)を自分ごとに～」会場：kokoka京都市国際交流会館 第1・2会議室 人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。 内容：セッション①(午前)「新型コロナウイルス感染症と私たち」講師 比嘉 美智子 さん(開発教育研究会、芦屋市立山手中学校) コロナパンデミックによって、社会が先送りしてきた環境・貧困・差別・政治参加などの民主主義の問題があぶり出された。 何が起きているのか耳をすまし、話し合い、共に未来を描きましょう。 セッション②(午後)「プラスチックごみから考えるSDGs」講師 西上 寿一 さん(開発教育研究会) 木村 あずさ さん(三郷町立三郷北小学校) 富永 有里 さん(葛城市立忍海小学校) レジ袋の有料化、プラスチックストロー廃止などがある一方、コロナ禍で使い捨て容器や感染対策用品が急増した。 プラスチック危機の真実の姿を理解し、どうすればいいかを一緒に考えましょう。 主催・問合せ：関西セミナーハウス活動センター ☎：075-711-2117 Email: office@academy-kansai.org https://www.academy-kansai.org</p> |
| 23 | 水 | 沖縄慰霊の日 |

| | |
|----|--|
| 25 | <p>金</p> <p>船員デー [IMO]</p> <p>●6.25シーサーネット2021年次総会 & 特別講演会 午後6:00～総会／午後6:30～特別講演 於:国労大阪会館・3F大会議室 特別講演:『ミャンマー 軍政と抵抗』 講師:猶原信男(なほらのぶお)さん(ミャンマー関西 代表) 資料代:800円 主催:しないさせない戦争協力関西ネットワーク(シーサーネット) 連絡先:☎06-6364-0123(中北法律事務所)</p> |
| 26 | <p>土</p> <p>拷問の犠牲者を支援する国際デー</p> <p>●基地のない平和な沖縄・日本 東アジアを! 6.26京都集会 14:00開会 16:00終了予定 円山公園野外音楽堂 終了後パレード(検討中) 講演:亀山統一さん(琉球大学農学部助教) 訴え:永井友昭さん(京丹後市議) 歌:おもちゃ楽団 踊り:月桃の花歌舞団 主催:京都沖縄連帯集会実行委員会 https://www.facebook.com/683352135428393/posts/1206837463079855/</p> <p>●2021年度 同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ:日本の歴史と「朝鮮」の境界 「在日朝鮮人の解放5年史～民族運動と弾圧の歴史」 鄭榮桓さん(明治学院大学教員) 毎回 正午より24時間 youtube上にて公開 参加費:無料(どなたでもご参加できます) 限定公開のため配信前日の金曜日までに事前連絡要 主催:同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先:doshisha_koribun@yahoo.co.jp</p> <p>●「オンライン・島々シンポジウム—要塞化する琉球弧の今」第3回 奄美一馬毛島から琉球弧の要塞化を問う! 13時～ 奄美市「AiAiひろば」公開収録ZOOMウェブセミナー (入場無料・カンパ歓迎) 申込みは事前登録アドレスから パネラー:城村典文さん(戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット代表) 荒田幸司さん(奄美市議会議員) 牧口光彦さん(奄美のミサイル部隊配備を考える会代表) 佐竹京子さん(同・考える会) 迫川浩英さん(馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会事務局) 和田香穂里さん(前西之表市議) 古川正則さん(種子島漁師) ゲスト:山里節子さん(いのちと暮らしを守るオーバーたちの会) 解説:小西 誠さん(軍事ジャーナリスト) 司会:三上智恵さん(ジャーナリスト・映画監督) 主催:「島々シンポジウム」実行委員会 連絡・申し込み shakai@mail3.alpha-net.ne.jp</p> <p>●『在日韓国人政治犯・李哲の獄中記～長東日誌』(著:李哲)6.26出版の集い 14時～ ■PLP会館5階大ホール 参加費500円+本代2800円 主催:在日韓国良心囚同友会/李哲氏を救援する大阪の会 問合せ:☎:080-6164-6215(住谷) E-mail:kj.doyukai@gmail.com/korea@e-sora.net</p> |
| 29 | <p>火</p> <p>●京都・主基田抜穂の儀違憲訴訟第3回弁論and高木博志さんによる公開学習会パートⅡ 弁論日時 16時～(整理券配布予定、15時20分まで) 京都地裁101号大法廷 公開学習会 16時30分開始予定(裁判終了後) 会場:弁護士会館地下大会議室 講師:高木博志さん「近代天皇制と大嘗祭」 資料代:800円(学生500円、その他相談)リモートあり 主催:京都・主基田抜穂の儀違憲訴訟団 連絡先☎06-7777-4935 靖国合祀イヤですアジアネットワーク気付 リモート参加申し込みフォーム(6/28午前中までに) https://forms.gle/Abzq6Ft5giomNyUf6</p> |
| 3 | <p>土</p> <p>●2021年度 同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ:日本の歴史と「朝鮮」の境界 「最近の朝鮮半島情勢～南北・米朝の首脳合意はなぜ履行されないのか?」 講師:康宗憲さん(韓国問題研究所代表) 毎回 正午より24時間 youtube上にて公開 参加費:無料(どなたでもご参加できます) 限定公開のため配信前日の金曜日までに事前連絡要 主催:同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先:doshisha_koribun@yahoo.co.jp</p> |

メモ

